

号外

# あすなる 通信

号外 [2014年1月1日]

発行人：望月智行 編集人：経営管理室

医療法人財団 献心会  
川越胃腸病院

〒350-0034 埼玉県川越市仙波町 2-9-2

電話：049-225-6888 URL：http://www.kib.or.jp/



## 胃腸ドック開設に向けて

医療法人財団献心会  
理事長 望月智行

日本人の三大死亡原因はご存じのように、①悪性新生物、②心臓疾患、③脳血管疾患並びに肺炎ですが、圧倒的に悪性新生物が多い(約30%)ことが知られています。がんの撲滅は人類最大の悲願ですが、それが容易でないことも事実です。

悪性新生物による死亡数は、多い順に男性は①肺がん、②胃がん、③大腸癌で、また女性は①大腸がん、②肺がん、③胃がんの順になっています。このように日本人は男女ともに胃がんと大腸がんで亡くなる方々が非常に多いことが大きな問題となっています。

ではこのような悪性新生物、特に胃がんと大腸がんの死亡率を少しでも少なくするにはどうしたらよいのでしょうか？

人間は誰でも発癌する危険性をもっています。ですからまずはがんにならない生活習慣や予防策の確立、そしてがんになっても早期に発見して、命が助かるうちに治療を受けるということが大切です。

胃がんに関しては、幸いヘリコバクター・ピロリ菌が発癌に関与していることが確実視されるようになり、近年積極的に除菌治療を受けていただく方が増えてきました。このことによって将来的には胃がんの発生は確実に減少してくるものと期待されています。一方大腸がんにおいても、便潜血反応検査によって早期がんの発見率は大きく向上してきました。

胃がんも大腸がんも、早期に発見さえできれば、早期治療によって命を失うことはありません。しかも日本の内視鏡技術は世界一を誇っているのです。そこで早期発見に向けての健診が重要となります。

今回当院が始める「胃腸ドック」はまさにこの早期発見への道を開くための健診システムです。一般的な「広く浅く」健診するのではなく、「胃と大腸に特化した奥行の深い専門ドック」健診です。お忙しい方々のために、一日で上部消化管(食道・胃・十二指腸上部)と下部消化管(大腸Ⅱ結腸・直腸と肛門)を同時に、当院の内視鏡学会認定の専門医・指導医が精度の高い診断を行います。どうぞこの機会を有効にご利用いただき、健やかな人生の確立にお役立てください。



内視鏡センター受付  
～ご利用をお待ちしております～

# 私たちが、担当します

日本一キレイで清潔な「胃腸ドック」を受けてみませんか？

「胃腸ドック」に目をとめていただき、ありがとうございます。  
私たちのドックは、たくさん特徴があります。

内科部長  
浅野 聡



## 8つの特徴

- (1) 胃も腸も、内視鏡(カメラ)で検査します。同日に行いますので、1日お時間いただければ十分です。
- (2) 眠った状態で検査を受けていただきます。痛くありません。
- (3) 検査担当医師は、日本消化器内視鏡学会専門医、指導医です。年間4000人以上の方に検査を行っています。
- (4) 学会認定の内視鏡検査技師(看護師、放射線技師)が検査の介助をします。
- (5) 最新の内視鏡機器(ハイビジョン+NBI+拡大内視鏡)を導入しました。
- (6) 内視鏡の洗浄、消毒を徹底しております。
- (7) 検査の前後は清掃の行き届いたキレイな個室で、ゆったりとお過ごしいただけます。
- (8) 胃腸に特化した、専門ドックです。

この号外を手にとられた方は、とても高い健康意識をお持ちでいらっしゃるのだと思います。ただ、内視鏡検査というものに何か抵抗があたりだったのではないのでしょうか？

少しでもご期待にお応えしたく、今回「胃腸ドック」をはじめることといたしました。

これからのご自身のため、そして大切なひとのために、貴重なお時間をどうぞ私たちにお預けください。

お待ちしております。



臨床検査技師

臨床検査科主任  
菅原 淑子



看護師

看護師長  
(外来・内視鏡センター)  
嶽石 真知子



医師

内視鏡センター長  
紫藤 和久



事務

事務課長  
福島 香代子



看護師

看護師長(病棟)  
高橋 純子



医師

外科・麻酔科  
小田 慶太郎